

## 伊那市環境審議会 会議録要旨

会議名称	伊那市環境審議会
開催日時	令和6年7月10日(水) 15時00分～16時45分
開催場所	伊那市役所第1委員会室(2階)
出席者	委員 11名(欠席1名) 事務局 7名
会議進行等	進行:市民生活部長 1 開会(市民生活部長) 2 委員委嘱書交付 3 あいさつ(市長) 4 自己紹介 5 伊那市環境審議会について 6 会長及び副会長選出 7 協議事項(進行:会長、説明:事務局) (1) 第2次伊那市環境基本計画の進捗状況について (2) 伊那市環境報告書(令和5年度)について (3) 一般廃棄物処理基本計画について (4) その他 8 その他 9 閉会(副会長)

---

### 【要旨】

#### 3 あいさつ

##### (1) 市長

近年、地球温暖化の影響と思われる自然災害が各地で頻発し、大きな爪跡を残している。温室効果ガスの削減など、地球温暖化対策は世界規模での取り組みが求められる大きな課題である。国は、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを宣言し、温暖化への対応を経済成長の機会と捉え、経済と環境の好循環を作っていく産業政策を打ち出している。温室効果ガスの削減は、伊那市にとっても大きな課題であり、伊那市50年の森林ビジョンにより、森林の保全、豊かな水資源や森林資源による木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの積極的な活用や、CO<sub>2</sub>排出

削減に向け『伊那から減らそうCO2!!』と題して伊那市二酸化炭素排出抑制計画を策定し、取り組んでいる。脱プラスチックに向けた取り組みでは、経木や麦ストローの普及、エコバック普及を進めている。また、CO2 排出削減に向け、本庁舎と長谷総合支所庁舎へ県の水力発電による「CO2 フリー電力」を活用など、着実に取り組みを進めている。持続可能な伊那市の構築に向け、廃棄物の削減、資源化を進めている。3R（スリーアール）への取り組みの推進や不法投棄の監視、ごみ分別の徹底など、快適な生活環境の構築に取り組んでいる。このほか、生活環境の保全について、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、光害などの問題は、市民生活に直接影響する重要な課題と考えている。委員の皆様には、こうした伊那市の環境行政の推進に、専門的見地から、また、日頃から環境問題に取り組まれている経験をもとに、多方面でのご意見を賜りたいと思っている。皆様のお力添えをいただきながら、伊那市の自然環境や生活環境等の保全に取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたい。

#### 4 自己紹介

(委員名簿により、名簿の上から順に事務局も含め自己紹介を行った)

#### 5 伊那市環境審議会について

(市民生活部長から伊那市環境保全条例（伊那市環境審議会）の概要を説明)

#### 6 会長及び副会長選出、会長あいさつ

##### 【会長】

環境と一言で言っても多岐にわたり、「環境」という言葉を考えると非常に難しい。市長からのあいさつでもあったが二酸化炭素の削減や、ゴミの処理に関する話、さらには大気汚染や水質汚濁など様々である。十分な審議を尽くすためにも皆様の専門の立場から活発な意見、質問をお願いしたい。

#### 7 協議事項

##### (1) 第2次伊那市環境基本計画の進捗状況について

事務局から資料 No. 1-1、1-2、1-3 について説明

**【委員】**

資料 No1-3、個別目標 1-5 について、「希少種保護の活動への参加を促す」が評価×になっているが、行政だけで対応するのは難しいのではないか。有識者や専門家とも協力しながら進めたほうが良いと思う。

**【事務局】**

指摘の通り、行政だけで進めるのは非常に難しい。有識者を交えて進める事を検討していきたい。

**【委員】**

個別目標 2-1 の 8 番目「伊那市地域気候変動適応計画の策定」とあるが、気候のみを考える計画になるのか。気候のみを考える計画でなければ、他の部署へも協力してもらったほうが良い。

**【事務局】**

気候のみではなく、様々な分野に亘る計画である。策定を行う上では、他の部署とも協力していきたい。

**【委員】**

資料 1-3 について、×が付いている項目については、実施できなかった理由を明確にしたほうが良いと思う。理由が明確化される事で次につなげやすいと思う。

**【委員】**

資料 1-2 の個別目標 2-2 について、市有施設 LED 化の目標となっている 195 か所は市の施設すべてを指しているのか。

**【事務局】**

市の施設の中で、照明を常に使用する施設を合計した数値である。倉庫等照明を使用しない施設は入っていない。

**【委員】**

資料 1-2 の個別目標 2-1 について、「CO2 削減量」の目標値が平成 25 年度比 30%となっているが、目標値は今後変更する可能性があるのか。

**【事務局】**

目標設定を行ったのが、2050 年カーボンニュートラル計画が策定される前である。

この目標値については、再度数値の見直しを行う予定である。

**【委員】**

資料 1-3 の個別目標について、「うちエコ診断、エコアクション 21」が×だが、進捗状況はどのような状況か。

**【事務局】**

全く手が付けられていない状況である。

**【委員】**

参考までに、エコ診断を受けると市内で使用できるポイントが貯まるといった施策を行う市町村もある。ぜひ、参考にしていただき今後進めてもらえればと思う。

**【事務局】**

広報誌で周知を図る他、他市の施策も参考にどういった周知方法が良いか検討していきたい。

**【会長】**

先ほどの意見でも出たが、未実施や×になった目標については理由を示したほうが良い。表記方法についても、「しない」と「できない」は全く違うニュアンスかと思うので、また検討していただきたい。

(2) 伊那市環境報告書（令和 5 年度）について

事務局から資料 No. 2 について説明

**【委員】**

3 廃棄物処理について、令和 3 年から令和 4、5 年にかけて人口が減少しているが、それに反して処理費用が増加している理由はなぜか。

**【事務局】**

確認して、後日回答としたい。

**【委員】**

4 地球温暖化防止について、麦ストローの生産が令和 5 年度は昨年度に対して激減しているが、何か理由があるのか。

**【事務局】**

受注量に対して生産を行っている。令和5年度はこの受注量が少なかったため、生産量も減少した。

**【委員】**

受注量を増やすような取組は生活環境課で行うのか。

**【事務局】**

農福連携事業で基本的には主管課の農政課が行う形である。このため、必要に応じて生活環境課が入る形となる。

**【委員】**

麦ストローとはどういった物なのか。

**【事務局】**

ライ小麦という品種の麦を、切断し煮沸消毒後に乾燥させたものである。

**【委員】**

4 地球温暖化対策について、エコバッグの使用率は分かるか。

**【事務局】**

一昨年度調査した使用率のデータがある。後日結果を出す。

**【委員】**

3 廃棄物処理について、「家庭から指定ごみ袋で排出されたごみの組成」で、資源化できる紙や資源化できるガラスはどういったものになるのか。

**【事務局】**

洗浄し乾燥させれば資源化できるビン、古紙として出せる紙等である。

**【委員】**

こうしたゴミの中に含まれる「資源化できるもの」を少なくする取組は行っているのか。

**【事務局】**

広報を行っている。また、衛生自治会の役員の方々にも協力をいただき周知してもら

っている。

**【委員】**

減少させる考え方として、市民に対してゴミの分別や資源物収集として徹底させるような手法を取ったほうが良い。周知も市だけでは厳しいかと思う。地域や衛生自治会を加えて、1回だけでなく何度も何度もしつこく周知を行うような手法を取ったほうが良い。

(3) 一般廃棄物処理基本計画について

事務局から資料 No. 3 について説明

**【委員】**

P18 の第 5 章・将来値の設定について、資料に出てくる家庭系ゴミと生活系ゴミの定義が混ざっているのではないか。

**【事務局】**

確認をさせていただきたい。

**【委員】**

P11 のゴミ処理経費について歳入と歳出で 4 億円ほど差があるが、何の費用で賄っているのか。

**【事務局】**

差分の 4 億円については、市費が該当する。

**【委員】**

P20 の表 5-4 について、目標達成後の 2029 (R11) 下から 2、3、4、5 段目の数値が R4 の数値と間違えているのではないか。P10 の表 2-10 にある数値と全く同じ数値となっている。

**【事務局】**

確認をさせていただきたい。

8 その他

(1) 30・10 運動について

資料に基づき説明。